

なみ 29号

わたしがすき
なかまがすき
ふるさとがすき



「令和の授業づくり講座」教材研究会

9月18日に本校で「令和の授業づくり講座」を開催しました。

11月27日に本校の5・6年生の複式授業を算数科で公開しますが、その授業にむけての教材研究会となります。

高知県教育委員会や香南市教育委員会をはじめ、大学院で学んでいる先生方や、香南市の先生、高知市や香美市の先生など、26名の参加がありました。

令和の授業づくり講座の趣旨は、「ICT（クラウド）を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びを実現する」です。

これからの時代を生きる子ども達は、他者と協働する力、自分で学びを進めていく力が求められています。その力の育成に向けて、実際の体験はもちろんですが、現代はICT活用を抜きにすることはできません。ICTに振り回されることなく、正しく効果的に使うことができるようになることが大切です。

ICTの活用に関しては、苦手意識がある教員も多いのですが、私達教員が、時代の流れを感じ、変化していくことが必要です。今回、水口先生が中心になって、ICTを効果的に活用したシームレス化（家庭学習と授業をつなぐ）や、他者参照（友達の考えを参考にして考えを深める）について提案し、協議を深めました。

他校の先生からは、「吉川小学校の児童が興味をもつ教材を準備するとよい。」「家庭学習で自分の考えをもってから授業に臨めることがよい。ICTを活用して復習に取り組むことはよくあるが、予習として活用することもできることを学んだ。」などの感想をいただきました。

児童の下校の変更では、大変お世話をおかけしましたが、本研修会による学びを授業実践に生かしていきたいと思えます。ご理解・ご協力ありがとうございました。



他校の先生方や指導主事の先生方と交流し、お話をたくさん聞くことができました。大変、刺激を受けました。

